

# えきまえ広場や泉龍寺で 高校生も初参加 10日・11日に狛江フェスティバル

「狛江フェスティバル2022」(同実行委員会主催)が10日田・11日田の正午から午後8時までえきまえ広場と泉龍寺で催される。令和2年と3年は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインやYouTubeなどで実施されたため、リアルでの開催は3年ぶりとなる。

えきまえ広場ではKOMAE BEER FESTAとして市内のブルワリー3店に加え各地の地ビールが楽しめるほか、市内の飲食店など約20店が出店、ステージでおんまち駅前ライブが催される。

泉龍寺ではこまえ夏まつりとして幅広い年代が楽しめるゲームや菓子など約10店の出店に加え、特設舞台上でダンスや音楽演奏が行われる。

さらに狛江駅周辺で狛江Market

と泉の森テラスが同時開催される。今回は高校生が企画段階から初めて参加、会場内に「高校生企画エリア」を設け、かき氷の店が出店する。

参加した新房 琉青さん(高校3年)、重村百香さん(同)、児玉虎乃輔さん(同2年)がアイデアを出し合い、かき氷のトッピングを輪投げで選ぶ店を開くことにした。3人は「こまえくぼ1234」などでボランティア活動をしているが、もっと地域貢献や活動がしたいと実行委員会に参加した。新房さんらは「高校生時代がずっとコロナ禍で文化祭の経験もなかったので、模擬店が成功するようがんばりたい」と話し、中高生に当日のボランティア参加を呼びかけている。

同フェスティバルは、平成26年から地域交流の活性化や狛江の魅力発信・にぎわいの創造などを目的に市民が実行委員会を結成して開催されている。

問い合わせは ☎080-4132-2633 繁平さん

## 今年も第二の枝豆ビール 醸造方法を変え9月販売

狛江特産品の枝豆を使ったクラフトビール(発泡酒)の醸造作業が7月30日田に行われた。市内のブルワリーと農家が昨年、共同開発したもので、今年も9月中旬の発売を予定している。

平成24年に枝豆を使った発泡酒「こまえ〜」を開発した「狛江野菜を広める会」メンバーの籠屋秋元商店専務の秋元慈一さん、駒井町で農業を営む松坂諭さん、高橋一真さん、高橋庸之さんの4人が、第二の枝豆ビールとして原材料から醸造、出荷までのすべてを市内で行おうと企画した。

原料の枝豆は昨年と同じ「湯あがり娘」で、猪方の栗原正登さんから提供された分も加えて20kgを使った。昨年は風味付けに枝豆の皮も使ったが、今年は豆と麦汁をミキサーでスムージー状にしたものを木の桶で発酵させる方式に変更。昨年より枝豆の風味が濃いという。参加したメンバーは「サヤから豆を取り出すのが大変だったが、ビールの出来上がるのが楽しみ」と話していた。

枝豆ビールは約200ℓを約1カ月かけて醸造、500ml瓶入りを1,056円(税込み)で販売する予定。

問い合わせは ☎3480-8931 籠屋秋元商店。



サヤから豆を取り出す作業に取り組むメンバー



## こまえくぼ 1234 からのお便り

### ボランティア募集

#### ■電動車イスで通学する男子高校生の見守りボランティア募集

土曜日(月1回程度)、市内及び近隣。男子高校生が部活で登下校する時の見守りと必要な手伝い。

内容:自宅最寄りバス停から学校までの付き添い、簡単な介助(バス、電車を利用) 日時:土曜日(月1回程度)片道約1時間。(登校)①午前8時頃から②正午頃から(下校)午後5時頃\*登下校いずれかでも可 場所:バス停(野川地域)学校(調

ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

布市内) 交通費:依頼者が負担(自己負担なし) ※詳細は問い合わせ

#### ■デジタルボランティア

イベント等で参加者のパソコンやタブレットなどの利用をサポート

#### ■こまえくぼ広報誌配達ボランティア

毎月初めから10日頃までの間(1月は20日~月末)に、「広報誌こまえくぼ1234」を配達(配達先は問い合わせ)

### フリースペースイベント

フリースペースで行われる参加できるプログラム

#### ■おりがみサロン

7日田午後1時~3時。折り紙で

ボランティア活動、交流

#### ■切手カフェ

9日田・16日田午後1時~3時。古切手の整理。古切手の収益をボランティア事業に使用

### 施設利用時のお願い

こまえくぼ1234は感染対策を行って開館しています。感染状況によっては、機能や設備利用の一部を制限する場合がありますので、ホームページや窓口等で確認してください。

### 今月のこまえくぼ

休館日=6日田、13日田、19日田、20日田、23日田、27日田



市民が取材・執筆する記事

## 野川のえんがわ こまち●石川歩さん 寄り添い合って生きること



劇団こまち

空き家を活用し、地域の人々の居場所をつくる「野川のえんがわ こまち」のスタッフの一人である石川歩さんは、「あむくん」と呼ばれ親しまれています。実はあむくん、学生時代から場づくりを中心としたサークル活動を行うなど、多くの活動に積極的に取り組んできました。初めてボランティアに携わったのは中学生の時に、その頃からボランティアを通して人と繋がることの喜びを実感してきたといいます。

また、あむくんは高校時代に演劇をしていた経験を生かし、こまちでも中高生と一緒に小さな劇団を作

### 野川のえんがわ こまち=西

野川2-31-1の民家を利用し令和2年5月にオープン。代表の梶川朋さん、芙美子さん夫妻の呼びかけで集まった介護福祉士、保育士、教師などで結成した「comarch」が運営している。

ています。この「劇団こまち」は、公演はしていませんが、演劇を気軽に楽しめるすてきな集まりです。こまちには学校に行けない子もふらっと立ち寄れる、そんな雰囲気があります。あむくんは、「劇団こまち」がいずれはそういう子どもたちの豊かな世界観を表現する場になってほしい」と、語っていました。

ちょっとしたきっかけで始めたこの活動は、子どもたちの成長の場にもなっています。活動を続けることや、みんなで一つのことに取り組む難しさを、子どもたちと一緒に改めて実感したと苦笑気味に、けれどもうれしそうに話してくれました。

他にもあむくんは「あわいろ」と

いう場(ホームページ)を作っています。この場を、

あむくんは「何もしなくていい場」だと言います。淡く、はっきりしないけれど確かにある思いや感情を分かち合い、ゆっくりと対話する中で、互いに寄り添っていく、そんな空間。「誰かのために何かを」という考え方とは真逆で、それでいて今たくさんの人が心の底から求めていることが、寄り添い合うことなのかもしれません。「答えのない関わりを続けられることについて、考えることが多くなった」とあむくんは楽しそうに語ります。日々いろいろな人と関わり合いながらその場所に自分を溶かしていく——優しくも頼もしい、あむくんの一面を見ることができました。

問い合わせは野川のえんがわ こまち ☎5761-4102 石川

「あわいろ」ホームページ→

(取材記事:こまえくぼ広報部会 有本)



石川さん

### 狛江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)

〒201-0003 狛江市和泉本町1-2-34 ☎5761-5556 FAX5761-5033 M info@vc.komae.org 開館時間午前10時~午後5時 休館日=火曜日、祝日、年末年始

ホームページはこちら→

